

令和6年度 松本市立開明小学校 グランドデザイン

校名「開明」の由来
人智を広げ
知恵を磨き
文化をすすめる



開校の理念「子どもたち一人ひとりは、未来に生きるかけがえない大切な命を持っている。子どもたちがその生涯を生き抜くため、さまざまな課題を展望し、その知恵と勇気と、健康でたくましい心身をもって取り組み、乗り越え、解決しながら人間性豊かな社会を創造していくことができる人間の基礎づくりを目標とする」

松本市教育大綱(R4.2.14)
「子どもが主人公 学都松本のシンカ」
松本市子どもの権利に関する条例(H25.3.15)
「すべての子どもにやさしいまち」

学校教育目標
**正しく
かしこく
たくましく**

校長の願い「学校は楽しいところ」社会の縮図である学校で、他者とともに学び、社会を知ることで、人とのかわりのよさや生きることの楽しさや苦しさ、喜びに触れ、自己の成長を実感する。こうした自己更新の営みを「楽しい」と感じられる子どもと職員が育つ学校でありたい

～ 多様性を尊重し、一人一人の「学び」と「育ち」を大切にします ～

めざす学校のすがた **「みんなが 幸せな学校」**

子ども 教師 保護者 地域 みんなで、「エージェンシー*」を発揮して、全ての人のウェルビーイングの実現を。

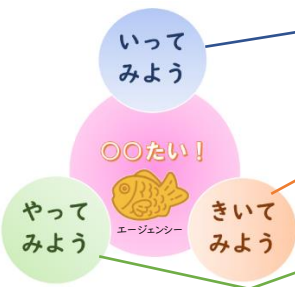
学校づくりの
合い言葉

いってみよう！ きいてみよう！ やってみよう！

子どもたちに
育みたい力
「エージェンシー」

めざす 子どものすがた

「学び」を楽しむ 子ども



「～たい」をもって挑戦し、ステップアップを楽しむなかで育むエージェンシー

いってみよう！ 「つたえよう 自分の考え 決めたこと」
考えや意見を自分の言葉で表現し、伝え、他者とコミュニケーションする力
伝える力 決める力

きいてみよう！ 「こまった…」「わからない…」「おたがいに…」
他者の考えや思いを聞き、受け止め、自分に生かす力
助けを求める力 支える力

やってみよう！ 「まず！」「何度でも！」「最後まで！」
勇気をもって挑戦し、あきらめずに続けて、成長を実感できる力
はじめる力 続ける力 やり遂げる力

めざす 教師のすがた

子どもの『～たい』からはじめる教師

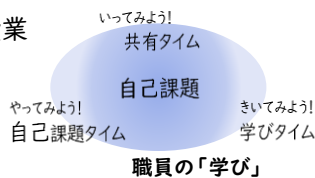
～「探究的な学び」を
子どもと共につくる～

研究テーマ『子どもが 〇〇する 授業』

- 重点 1 子どもの「願い」「問い」からはじまる授業
- 重点 2 子どもに伴走する教師自身の学び

「教師エージェンシー」を伸長する取組

自己課題をもち、子どもの学びや授業を語り合い、リフレクションする、対話的で参画型の研究・研修サイクルで、挑戦し、学び続ける教師集団



- ・単元や題材を貫く「願い」や「問い」
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実
- ・学習の充実のための ICT 活用の促進
- ・教室から外に展開する
- ・体感的でダイナミックな学び

「全ての子にとってウェルビーイングな学校を」

どの子もその子らしく学び学級に位置付く支援
・開明小ユニバーサルデザイン(KUD)に基づく学級経営
・市教委と連携したスクリーニング研修

特別支援教育の充実
・生活単元学習を核とした学習・活動の充実(知障)
・一部教科担任制の導入や学年学級を超えた合同の学習・活動

不登校・不適応傾向児童への支援の充実
・適応支援Coを中心としたチームによる児童・保護者・家庭への支援・相談体制
・校内教育支援センターの環境整備

より多くの目で子どもの育ちを支える
・理科・高学年体育等の教科担任制
・子どもの学びや育ちを共有する語り合いの時間

スクールカウンセラー、SSW、市教委、アルプきつず支援室、幼・保、中学校等の関係機関と連携した教育相談体制と「学びの場の見直し」

教職員のウェルビーイングをめざして

- ・4時間または5時間授業日の設定と職員の研修会合時間の確保
- ・教科担任制による負担減と専門性の涵養
- ・教職員個々のキャリアアップを見据えた分掌と業務の平準化の促進
- ・定時退校日の徹底
- ・業務効率化のための動線・環境の日常的見直し

保護者に発揮していただきたいエージェンシー

全ての子よりよい育ちを願い、みんなが幸せになるために、学校のパートナーとして、協働して子どもの成長を支えてほしい
・早寝早起き、朝ご飯、あいさつ、読書等の励行
・新しい時代のPTAのあり方についての連携した活動と研究

地域に発揮していただきたいエージェンシー

学校を舞台に世代を越えて交流し、コミュニティづくりの拠点に
・コミュニティ・スクールを基盤として、公民館と連携した地域の素材や人材の発掘、共有
・地域ボランティアの再編成
・教室から「外へ」「地域へ」展開し、「地域で学ぶ」「地域を学ぶ」「地域に学ぶ」する学習・活動・児童会活動との協働

信頼される教職員
集団であるために

- ・教育公務員としての自覚と同僚性を涵養するコンプライアンス研修
- ・その子の向こうにいる保護者の思いへの傾聴
- ・児童ファースト、市民ファーストの接遇

*『ウェルビーイング』 身体的・精神的・社会的に良い状態であること(2023「第4次長野県教育振興基本計画」より)
*『エージェンシー』 目標や願いをもち、実現するために問い続け、挑戦する力(OECD「学びの羅針盤 2030」より)

